

# 令和6年度卒業式（3月25日）校長式辞

## 卒業生の皆さん、御卒業おめでとう

3月とは思えないほど、寒い日や雪の日もありましたが、ここ数日は、気温も高く、春らしい日が続いています。本日も晴天、このよき日に卒業式を迎えた102名の卒業生の皆さん、おめでとうございます。

## 来賓への感謝

また、本日、御多用の中、御来賓の皆様、卒業式への御臨席、誠にありがとうございます。卒業生の門出の日を皆様と共に祝福できること、大変喜ばしく思っております。教職員一同を代表いたしまして、感謝申し上げます。

## 小学校の頑張り

卒業生の皆さん一人一人に先ほど卒業証書を渡しましたが、今、どんな思い出ですか。嬉しい、さみしい、小学生でまだいたかった、中学校が楽しみなど、いろいろな思いが入り混じっていると思います。皆さんの小学校生活六年間、一年365日ですから、約2,200日ありましたね。小学校に入学して、学校生活にも慣れ、1年生が終わりを迎えようとしていた3月。新型コロナウイルス感染症のため、まさかの一斉休校。2年生の初めも自宅での学習となりました。6月頃から学校が再開となりましたが、マスクをしなさい、給食は黙って食べなさい、音楽の歌もリコーダーもだめです、話合いはしません、素顔で友達と楽しく過ごしていた1年生のときとガラッと変わってしまいました。そんな2年生・3年生・4年生の三年間を過ごすことになってしまった皆さんでしたが、その中でもそのときにできることを一生懸命頑張ってきたからこそ、コロナが第5類になり、5年生・そして今の6年生の姿があるのです。失われた時間は、戻りません。もっとこうしたかったということはあるかもしれませんが、大丈夫です。これからは、たくさん我慢してきた分、できることがたくさんあります。卒業生の皆さんと私が過ごしたのは、たったの一

年間でしたが、皆さんが最高学年でいてくれたからこそ、開進第一小学校の一年間は、安定して、よい学校でいられたと思っています。9月の軽井沢移動教室では、本物の火を囲んで、盛大にキャンプファイヤーを行いました。暗闇の中、燃え盛る炎を中心に、ゲームをして、楽しく過ごしたひとときは、頭にも心にも強く残っています。また、10月の運動会では、組体操を披露してくれました。ともとつなぐ。皆で心をひとつにして、友達を信頼し合ったからこそ、本番での素晴らしい演技につながりましたね。どの学年の子も、先生たちも、保護者も、大きな拍手をしていました。感動を与えてくれました。11月の「かいいちアートの森」では、皆さん一人一人個人の豊かな発想力と、一生懸命作り上げたというストーリーが、作品から伝わってきましたよ。そして、年間を通じてたてわり、委員会、クラブでも常にリーダーシップを発揮してくれました。皆さんのリーダーシップがあったからこそ、よい活動になったのです。開一小のためにありがとうございます。そして、行事でも皆さんの力を最大限に発揮して充実したものになりましたね。

### 感謝の気持ち

こうやって、今、壇上から皆さんの顔を見ると、とても立派な表情、態度ですが、ここまで全部一人で成長してきた人はいませんね。ですから、3月17日の全校朝会でも話しましたが、小学校卒業という節目のときに、今一度「感謝」の気持ちをもってほしいと思います。一緒に過ごしてきた友達・クラスメイト、これまで担任してくれてくれたり、授業をしてくれたりした先生方、そして、今日も後ろで皆さんの姿を見守ってくださっている保護者の皆様に感謝の気持ちをもちましょう。感謝の気持ちは、言葉にするとより伝わりますよ。「ありがとうございました。」「ありがとう。」そう気持ちを込めて言葉にしてください。

### 中学校への期待

さて、4月から始まる中学校生活。小学校の半分しかない三年間ですが、とても楽しいですよ。勉強も部活も打ち込むものがきっと見付かります。心も体も大きく

成長します。新しい友達もたくさんできます。初めて、「受験」に挑戦する人も出てくるでしょう。新しい環境になるので、不安や緊張も当然あるかもしれませんが、大丈夫。皆さんは、コロナ禍という難しい中でも一生懸命頑張り、開一小を立派に卒業するのですから、そのことにぜひ、自信をもってください。

### **保護者へのお祝い**

保護者の皆様、改めて、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。入学した六年前、朝は大雨でしたがその後曇りに。そんな入学式でしたね。まだ体も小さく、真新しいランドセル、これから始まる小学校生活にワクワク・ドキドキしていた1年生。お子さんと共に保護者の皆様もお子様の成長が嬉しい反面、小学校に慣れるかどうかという御不安もあったかもしれません。

「テストで100点取れたよ。」、「給食おいしかった!」、「〇〇ちゃんと遊んだよ。」、「先生が面白かった。」と、何でも報告して目を輝かせていた子供の姿もあったことでしょう。時には、保護者の言うことに反抗したり、黙ったままだったり、うまくいかないこともあったことでしょう。ぶつかって傷付けたり、傷付けられたり、でも、自分の子供ですから、どうしてもなく愛しくて、愛しくて。そんなお子様たちが、今日、卒業です。まだまだ子育ては終わりませんが、小学校卒業まで立派に成長した卒業生です。ぜひ、お子様に温かい言葉をかけていただくとともに、ここまで子育てをしてきた保護者御自身に、「よく頑張った。」と褒めていただければと思います。

### **歴史、誇りある母校**

卒業生の皆さん、小学校生活最後の時が、刻一刻と迫っています。142年の歴史を誇る伝統校、開進第一小学校の卒業生として、前を向き、笑顔で、誇りをもって、堂々と、卒業して行ってください。

ただ、開一小は皆さんの母校です。ふと行きたくなったり、報告したかったり、校舎を見たかったりすることもこれからあるかもしれません。いつでも待っています。

すよ。母校に遊びに来てくださいね。そのときにまた一段と成長した皆さんの姿を見られるのが今からとても楽しみです。

卒業生の皆さん、改めて卒業おめでとう  
そして、ありがとう

令和7年3月25日 練馬区立開進第一小学校 校長 海老沼 寛之